

# 空調機用コントローラ

## Infilex™ AC

### 形WY5117C1\*\*\*

#### ■ 概 要

Infilex ACは、空調機制御用のデジタルコントローラです。

空調機内制御盤など、わずかなスペースに組み込んで、使用できます。

空調機の制御方法に適した入出力を備え、計装に合わせて搭載するソフトウェアを自由に変更されます。オペレーションについても、オペレータ用表示設定器や居室用ユーザー設定器が接続でき、さまざまなシチュエーションに対応できます。

また、Infilex ACは、弊社中央監視装置と伝送幹線(NC-bus)により接続できます。運転状況の監視装置への送信、中央からの指令に基づく運転管理などにより、建物全体の統一管理が行えます。

さらに、タイムスケジュール機能をコントローラ側で持ち、自律分散制御を実現します。



#### ■ 特 長

- (1) 小型  
小型のコントローラです。コンパクトエアハンドリングユニットの制御盤に組み込んで使用できます。
- (2) さまざまな計装への対応  
外気冷房制御の有無、加湿機能の有無など空調機の制御内容に合わせて、最適な入出力点数の形番を選択できます。
- (3) 点数拡張  
形WY5117C140\*は、I/Oモジュール追加により点数を増やせます。
- (4) オペレータ用表示設定器接続可能  
表示設定器(盤表面型/一体型から選択可)を接続し、コントローラ近傍で設定変更操作ができます。
- (5) 居室用ユーザー設定器接続可能  
弊社ユーザー設定器(ネオパネル、ネオプレート、ネオパネルワイヤレス)を接続し、居室内から空調機の運転/停止、温度設定変更ができます。
- (6) ワイヤレスセンサ選択可能  
接続する温度センサや温湿度センサをワイヤレス、またはワイヤードから選択できます。
- (7) 中央監視装置との協調  
弊社中央監視装置と接続し、中央から空調機を集中管理できます。
- (8) 自律分散  
中央監視装置に異常が発生した場合でも単独でバックアップ動作を行います。故障時のリスクを分散できます。
- (9) 施工方法  
I/Oの端子台にワンタッチねじレス端子台を使用しているため、配線作業を省力化できます。取付方法は、DINレール取付、またはねじ取付から選択できます。

## 安全上の注意

ご使用前に本説明書をよくお読みのうえ、仕様範囲内で使用目的を守って、正しくお使いください。  
お読みになったあとは、本説明書をいつでも見られる所に必ず保管し、必要に応じ再読してください。

### 使用上の制限、お願い

本製品は、一般機器での使用を前提に、開発・設計・製造されています。

本製品の働きが直接人命にかかわる用途および、原子力用途における放射線管理区域内では、使用しないでください。一般空調制御用として本製品を放射線管理区域で使用する場合は、弊社担当者にお問い合わせください。

特に ・ 人体保護を目的とした安全装置 ・ 輸送機器の直接制御(走行停止など) ・ 航空機 ・ 宇宙機器など、安全性が必要とされる用途に使用する場合は、フェールセーフ設計、冗長設計および定期点検の実施など、システム・機器全体の安全に配慮した上で、ご使用ください。

システム設計・アプリケーション設計・使用方法・用途などについては、弊社担当者にお問い合わせください。

なお、お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、ご了承ください。

### ■ 計装設計上のお願い

万が一、本製品に故障などが生じた場合を考慮し、システム・機器全体の安全設計を実施してください。

### ■ 設計推奨使用期間について

本製品については、設計推奨使用期間を超えない範囲でのご使用をお勧めします。

設計推奨使用期間とは、設計上お客様が安心して製品をご使用いただける期間を示すものです。

この期間を超えると、部品類の経年劣化などから製品故障の発生率が高まることが予想されます。

設計推奨使用期間は、弊社にて、使用環境・使用条件・使用頻度について標準的な数値などを基礎に、加速試験、耐久試験などの科学的見地から行われる試験を行って算定された数値に基き、経年劣化による機能上支障が生ずるおそれ著しく少ないことを確認した時期までの期間です。

本製品の設計推奨使用期間は、15年です。

なお、設計推奨使用期間は、寿命部品の交換など、定められた保守が適切に行われていることを前提としています。

製品の保守に関しては、保守の項を参照してください。

### ■ 「警告」と「注意」



警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。



注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

### ■ 絵表示



記号は、明白な誤操作や誤使用によって発生する可能性のある危険(の状態)を警告(注意)する場合に表示(左図は感電注意の例)。



記号は、危険の発生を回避するために特定の行為を禁止する場合に表示(左図は分解禁止の例)。



記号は、危険の発生を回避するために特定の行為を義務付けする場合に表示(左図は一般指示の例)。

### ⚠ 警告



本製品はD種接地以上に接地してください。不完全な接地の場合、感電のおそれや故障の原因になることがあります。



端子カバーを着脱するときは、配線が活線状態でないことを確認し、結線作業後は端子カバーを元に戻してください。端子カバーをしないと感電するおそれがあります。



配線・保守などの作業は、本製品への電源を切った状態で行ってください。感電のおそれや故障の原因になります。



本製品は盤内など管理者以外が触れない場所に設置してください。感電するおそれがあります。

### ⚠ 注意



本製品は仕様に記載された使用条件(温度、湿度、電圧、振動、衝撃、取付方向、雰囲気など)を満たす場所に設置しその仕様範囲内で使用してください。火災のおそれや故障の原因になることがあります。



取り付けや結線は、安全のため、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。



配線については、内線規程、電気設備技術基準に従って施工してください。



雷対策は、地域性や建物の構造などを考慮し、実施してください。対策しないと、落雷時に火災や故障拡大の原因になります。

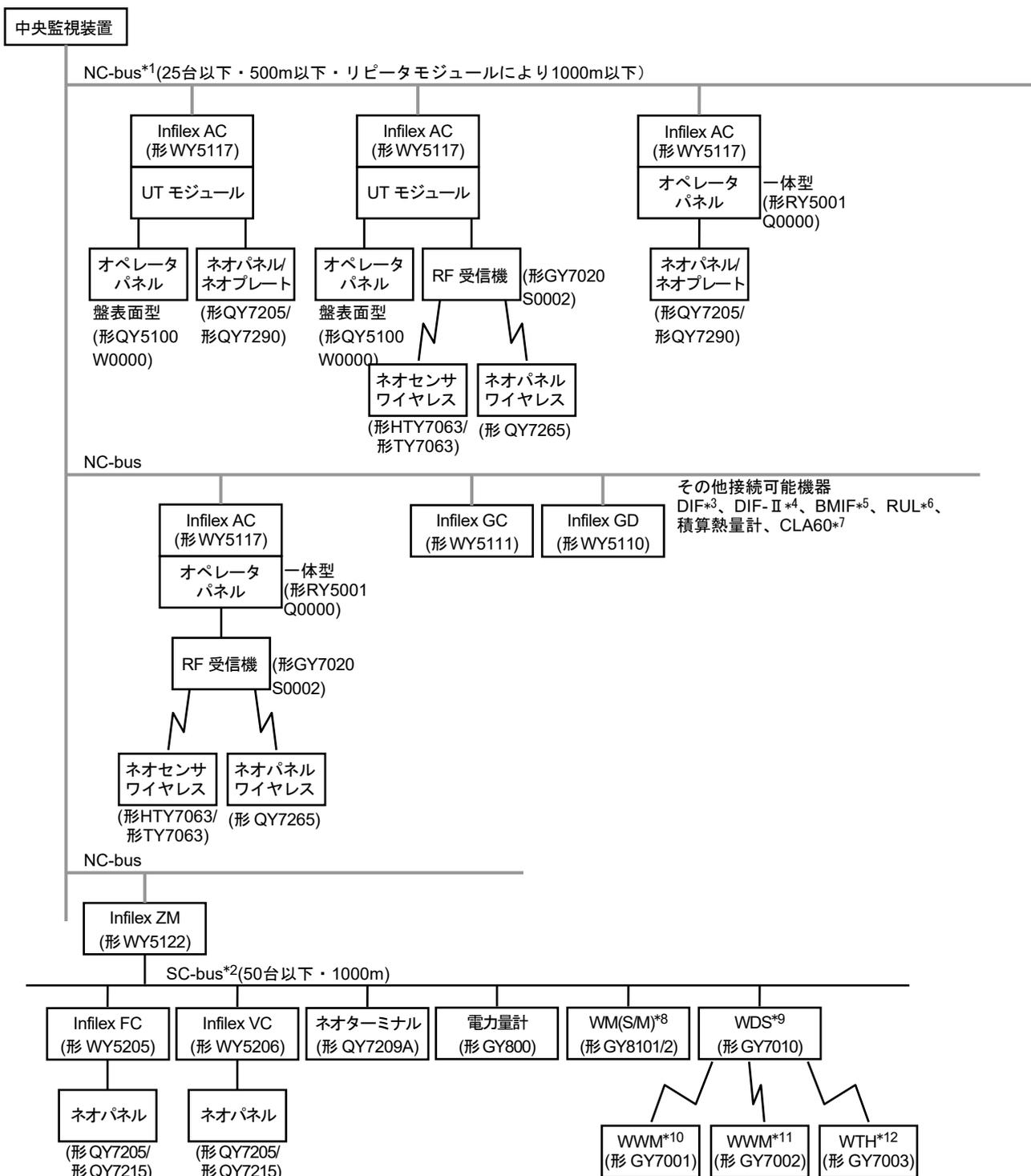
### ⚠ 注意

	本製品をノイズの多い環境に設置するときは、ノイズ対策を行ってください。誤動作や故障の原因になることがあります。
	本製品への給電元に電源遮断ブレーカを設けてください。 本製品は電源スイッチがないため、本製品側では電源を切れません。
	本製品の電源は、端子接続などの恒久的な接続手段により接続してください。
	端子台に接続する圧着端子には絶縁被覆を使用してください。 絶縁被覆がないと、短絡して火災のおそれや故障の原因になります。
	端子ねじは確実に締めてください。 締め付けが不完全だと火災のおそれや発熱の原因になることがあります。
	配線の被覆むき長さは、仕様に記載された寸法を守ってください。 長すぎると導電部が露出し、感電または隣接端子間で短絡することがあります。短すぎると導電部が接触しないことがあります。
	本製品の空き端子は、中継などに使用しないでください。 故障の原因になることがあります。

### ⚠ 注意

	本製品の通風孔を、ふさがないでください。(また、保護シートは設置・結線後にはがしてください)。 通風孔をふさいだままにすると、故障の原因になることがあります。
	本製品に定格以上の電圧を印加した場合は、安全のために新品に交換してください。 そのまま使用すると、火災のおそれがあります。
	本製品を分解しないでください。 故障の原因になることがあります。
	本製品のバッテリーを交換する場合は、本説明書で取付方法を確認のうえ、正しく取り付けてください。 バッテリーの発熱、破裂、液漏れの原因になることがあります。
	使用後のバッテリーは火中に投げたり、そのまま廃棄しないで、各自治体の条例に従って適切に処理してください。 破裂や発火のおそれがあります。

## ■ システム構成図



- \*1 NC-busは、ニューコントローラバスの略称です。  
 \*2 SC-busは、サブコントローラバスの略称です。  
 \*3 DIFは、データギャザリングパネルラインインタフェースの略称です。  
 \*4 DIF-IIは、データギャザリングパネルラインインタフェースIIの略称です。  
 \*5 BMIFは、ビルマルチンタフェースの略称です。  
 \*6 RULは、リモートユニットライトの略称です。  
 \*7 CLA60は、コミュニケーションアダプタ60の略称です。

- \*8 WM(S/M)は、ワットメータモジュールシングルサーキットの略称です。  
 \*9 WDSは、ワイヤレスデータスポットの略称です。  
 \*10 WWMは、ワイヤレスワットメータモジュールシングルサーキットの略称です。  
 \*11 WAIは、ワイヤレスアナログインプットアダプタの略称です。  
 \*12 WTHは、ワイヤレスサーモヒューミセンサの略称です。  
 (注) 接続可能な中央監視装置の詳細は、弊社販売員にお問い合わせください。

図1 システム構成

## ■ 形 番

形 番		内 容	
WY5117			
	C		AC24V
		1	固定
		1	温度入力：2点 電圧入力：2点 デジタル入力：4点 電圧出力：2点 リレー出力：3点 UTモジュール、またはオペレータパネル(一体型)1台接続
		2	温度入力：2点 電圧入力：2点 デジタル入力：4点 電圧出力：3点 リレー出力：4点 UTモジュール、またはオペレータパネル(一体型)1台接続
		3	温度入力：2点 電圧入力：2点 デジタル入力：6点 電圧出力：5点 リレー出力：5点 UTモジュールまたはオペレータパネル(一体型)1台接続
		4	温度入力：2点 電圧入力：2点 デジタル入力：8点 電圧出力：6点 リレー出力：6点 UTモジュール、またはオペレータパネル(一体型)1台+I/Oモジュール1台接続*
		00	温度入力：測温抵抗体 (Pt100)
		OK	温度入力：測温抵抗体 (Pt1000)

\* UTモジュール、オペレータパネル(一体型)とI/Oモジュールは、別途手配が必要です。

(注) 接続できるモジュールの詳細は、『AI-6527 I/Oモジュール、ユーザーターミナルモジュール、オペレータパネル(一体型)仕様・取扱説明書』を参照してください。

## ● 別途手配品 (取付方法により選択)

形 番	内 容
83165861-001	ねじタブ
83104567-001	DINレール押さえ金具

## ■ 仕 様

(1/2)

項 目		仕 様	
電源仕様		定格電圧	AC24V±15% 50/60Hz
		電源断検出	AC19.2V以下
		消費電力	15VA
		漏えい電流	1mA以下
環境条件	定格動作条件	周囲温度	0～50℃
		周囲湿度	10～90%RH (ただし結露なきこと)
		標高	2,000m以下
		振動	5.9m/s <sup>2</sup> 以下 (10～150Hz)
	輸送・保管条件	周囲温度	-20～60℃
		周囲湿度	5～95%RH (ただし結露なきこと)
		振動 (保管)	5.9m/s <sup>2</sup> 以下 (10～150Hz)
		振動 (輸送)	9.8m/s <sup>2</sup> 以下 (10～150Hz)
設置場所		盤内取付	
LED表示 (動作状態)		電源投入後、状態に応じたLED動作に移行	
		電源ON	電源投入後、数十秒間点灯
		電源OFF	消灯
		重故障・イニシャル中	点灯
		軽故障	1秒点灯、0.25秒消灯0.25秒点灯、0.25秒消灯の繰り返し
		エンジニアリングモード	0.25秒点灯、0.25秒消灯、0.25秒点灯、1.25秒消灯の繰り返し
		通信データあり	1秒点灯、1秒消灯の繰り返し
		NC-bus異常	0.25秒点灯、0.25秒消灯の繰り返し

項目		仕様	
停電保持		RAM*1、RTC*2	リチウム電池による
		データファイル	不揮発性メモリ(フラッシュメモリ)による
入力仕様	デジタル入力	電流	5mA 標準
		電圧	DC24V 標準
		接続可能出力	無電圧接点またはオープンコレクタ
		許容ON接点抵抗	100Ω以下
		許容OFF接点抵抗	100kΩ以上
		許容ON残留電圧	1.0V以下
		温度入力	入力信号
	計測範囲		-20~80°C
	電圧入力	入力電圧範囲	1~5V
		入力インピーダンス	500kΩ
出力仕様	リレー出力 (a接点)	出力方式	リレー出力 a接点 (a接点同士はコモン共通)
		接点定格	AC24V 0.5A以下 (誘導負荷 cosφ0.4以上) DC24V 0.5A以下
		最小適応負荷	5V 10mA
	リレー出力 (c接点)	出力方式	リレー出力 c接点 (a接点とはコモン別)
		接点定格	AC24V 0.5A以下 (誘導負荷 cosφ0.4以上) DC24V 0.5A以下
		最小適応負荷	5V 10mA
	電圧出力	出力電圧範囲	2~10V/0~10V
		最小負荷抵抗	10kΩ以上
	通信	NC-bus	伝送方式
伝送速度			4800bps
伝送距離			500m
質量		500g	
主要部材質、色		ケース：変性PPE ライトグレー	
接続方式	電源、接地	端子台：M3ねじ (ピッチ7.62mm)	
	NC-bus、I/O	ワンタッチねじレス端子台	

\*1 自由に書き込み、消去ができるメモリのことです。

電源をOFFにすると記憶内容が消去されてしまいます。リチウム電池により、バックアップされます。

\*2 リアルタイムクロックのことです。

電源OFF時に、リチウム電池によりバックアップされ、計時を保証します。

## ■ 配線仕様

項目	配線	配線長*1	条件
電源	IV2.0mm <sup>2</sup> 、またはCVV2.0mm <sup>2</sup> 以上	---	---
接地	IV2.0mm <sup>2</sup> 、またはCVV2.0mm <sup>2</sup> 以上	---	D種接地相当 接地抵抗100Ω以下
デジタル入力	IV、CVV、またはKPEV0.9mm <sup>2</sup> 、1.25mm <sup>2</sup>	50m	---
リレー出力	IV、CVV、またはKPEV1.25mm <sup>2</sup>	50m	AC/DC30V以下
温度入力*2	IV、CVV、またはKPEV1.25mm <sup>2</sup>	50m	---
電圧入力	IV、CVV、またはKPEV0.9mm <sup>2</sup> 、1.25mm <sup>2</sup>	50m	---
電圧出力	CVVS1.25mm <sup>2</sup>	20m	インバータ出力
	IV、CVV、またはKPEV1.25mm <sup>2</sup>	10m	バルブ・ダンパ (システムコモン接続時)*3
	IV、CVV、またはKPEV2.0mm <sup>2</sup> (中継端子台から先)	20m	
	IV、CVV、またはKPEV1.25mm <sup>2</sup>	20m	
NC-bus	IPEV-S 0.9 mm <sup>2</sup>	500m	---

\*1 配線長は、中継端子台までと、その先の負荷までの配線の合計です。

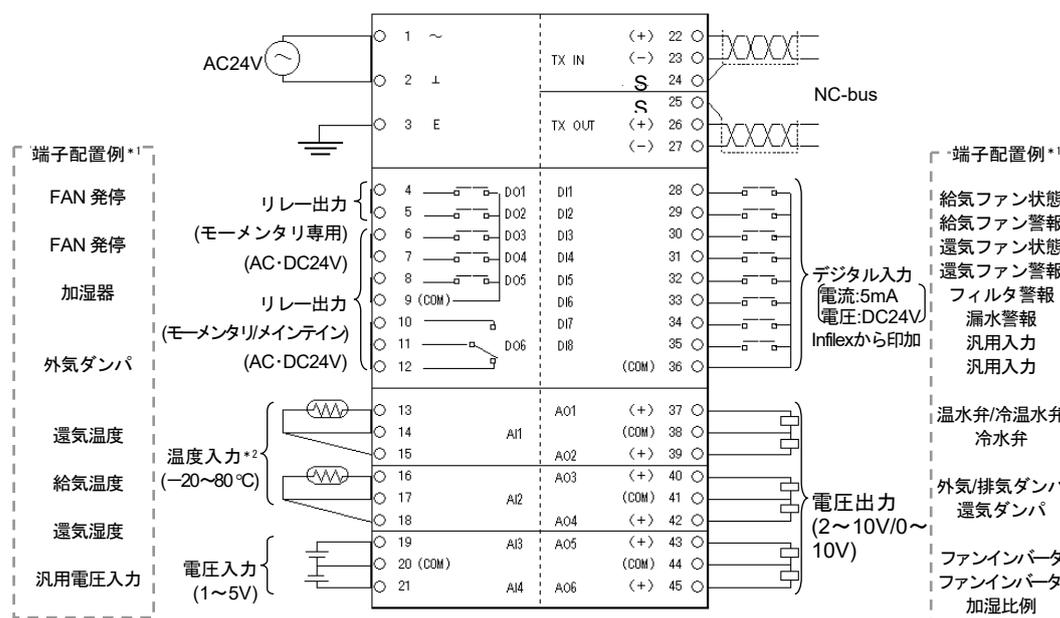
\*2 測温抵抗体(Pt1000)の温度入力部は2線式のため、リード線の配線抵抗が計測誤差となります。  
断面積1.25mm<sup>2</sup>の場合、10mあたり約0.1°C程度の計測誤差となります。必要に応じて、コントローラ側で調整してください。

\*3 システムコモン接続時は、コモン配線にバルブ、ダンパの動作電流が流れるため、上記仕様になります。  
IV1.25mm<sup>2</sup>で配線長を20mにする場合は、4線接続とし、動作電流が信号コモン線に流れないようにしてください。

(注) 1. 電源、接地は、M3ねじ端子台を使用しています。  
線端に圧着端子が必要です。

2. 通信、I/Oは、ワンタッチねじレス端子台を使用しています。  
被覆除去のみで接続できます。被覆除去長さ = 8mm、棒端子は、使用できません。

## ■ 入出力および端子配置



\*1 使用例であり、信号の仕様が合えば、他の用途にも使用できます。

\*2 温度入力部が測温抵抗体(Pt100)の場合は、3線式のため、端子13・15、端子16・18に結線してください。  
温度入力部が測温抵抗体(Pt1000)の場合は、2線式のため、端子13・14、端子16・17に結線してください。

図2 入出力および端子配置図

	AI1~ AI4	AO1, AO2	AO3	AO4	AO5	AO6	DI1~ DI4	DI5, DI6	DI7, DI8	DO1, DO2	DO3	DO4	DO5	DO6
WY5117C110*	○	○					○			○				○
WY5117C120*	○	○	○				○			○	○			○
WY5117C130*	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○		○
WY5117C140*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(注) C140\*に対するIOモジュール追加については、『AI-6527 Infilex GC、Infilex GD、Infilex AC、PARAMATRIX4用 I/Oモジュール、ユーザーターミナルモジュール SAnet インターフェース 形RY5\*\* 仕様・取扱説明書』を参照してください。

## ■外形寸法

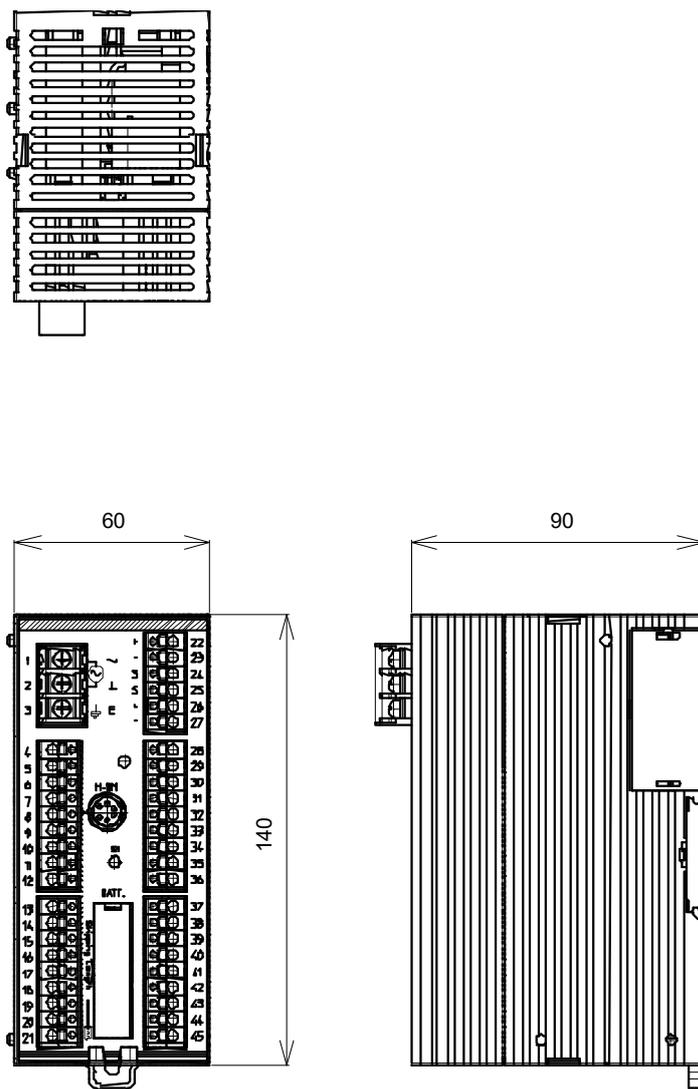
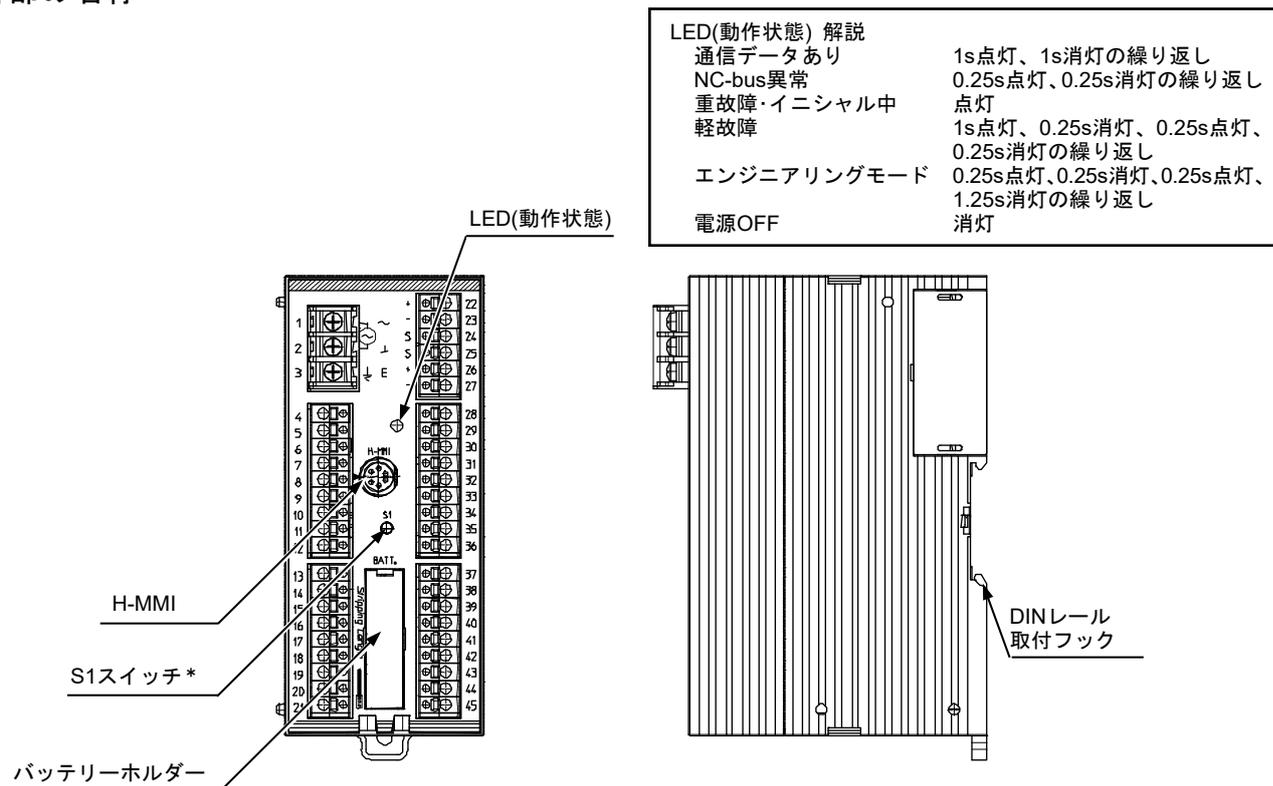


図3 外形寸法図 (mm)

## ■各部の名称



\* S1スイッチは押さないでください。

図4 各部の名称

## ■取付

### ⚠ 注意

❗ 取り付けや結線は、安全のため、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。

### ●取付場所

- 本製品は、盤内に取り付けてください。
- 高温高湿になるような場所を避けてください。
- 本製品の上部および下部は、他機器と35mm以上離してください。

### ●取付姿勢

『図5 取付姿勢』のとおりとします。

- \* 横方向取付は、Inflex ACを単体で取り付ける場合のみ。  
I/Oモジュールを組み付ける場合は、縦置きにしてください。  
電源端子が右上になる横方向取付、表面プレートが上向きや下向きの設置は禁止します。

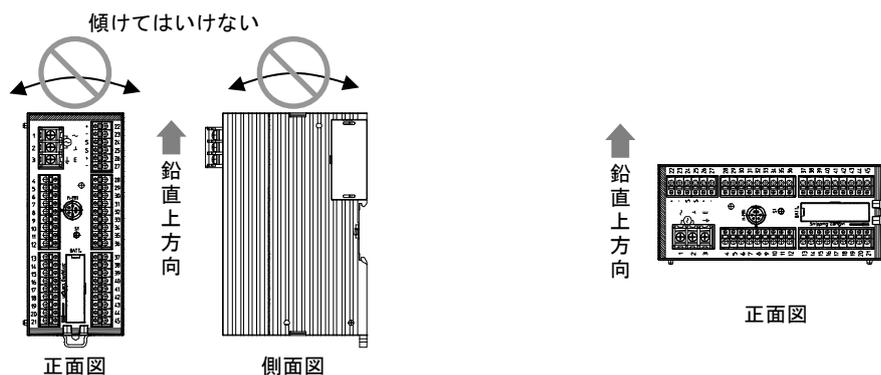


図5 取付姿勢

## ●DINレール取付

DINレール取付時の寸法を『図6 DINレールへの取付』に示します。

横寸法は、組み付けるI/OモジュールとUTモジュール、オペレータパネル(一体型)の台数によって変わります。

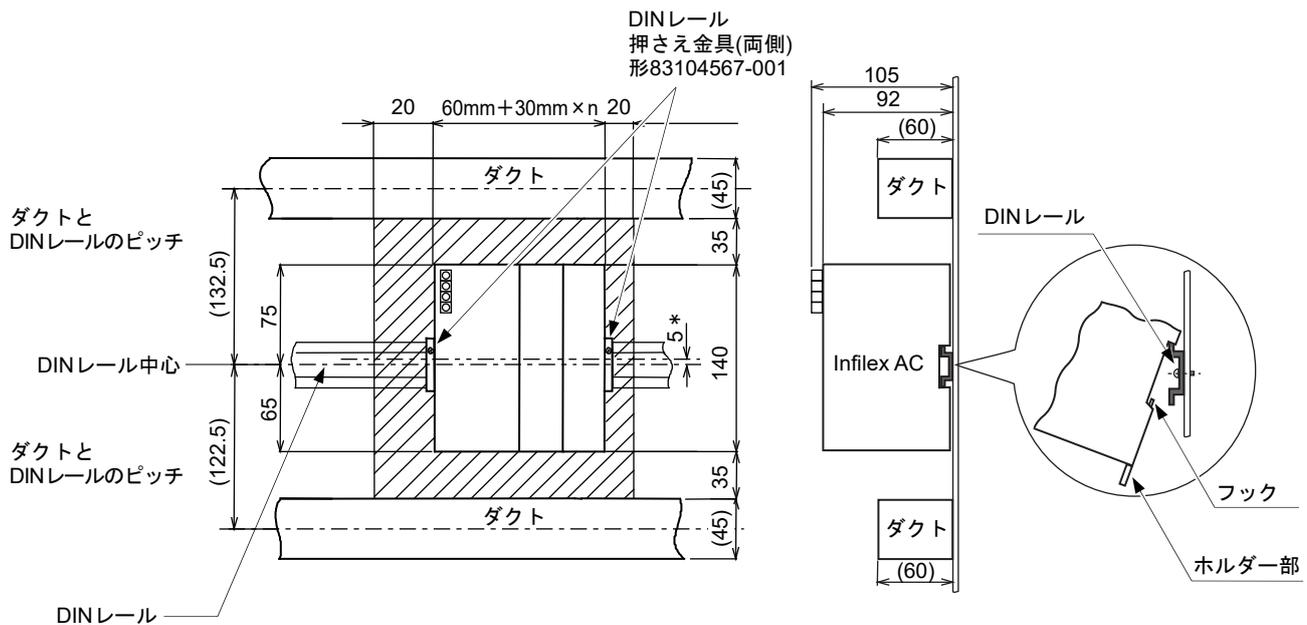
横寸法=60mm\*1 + 30mm\*2 × n(台数)

\*1 Inflex AC本体の幅

\*2 I/Oモジュール/UTモジュール/オペレータパネル(一体型)の幅

斜線部は、メンテナンススペースを示します。

(注) 接続できるモジュールの詳細は『AI-6527 I/Oモジュール、ユーザーターミナルモジュール、オペレータパネル(一体型)仕様・取扱説明書』をご参照ください。



\* DINレールの位置は、Inflex ACの中心から5mm下方にオフセットしています。

図6 DINレールへの取付

DINレールから脱落しないように、取り付けてください。

全モジュールのホルダー部が押し上げられ、DINレールに固定していることを確認してください。

また、左右をDINレール押さえ金具(形83104567-001)2個で固定してください。

## ●ねじ直接取付

ねじ直接取付時の寸法を『図7 ねじ直接取付』に示します。

横寸法は、組み付けるI/OモジュールとUTモジュール、オペレータパネル(一体型)の台数によって変わります。

横寸法=60mm\*<sup>1</sup> + 30mm\*<sup>2</sup> × n(台数)

\*1 Inflex AC本体の幅

\*2 I/Oモジュール/UTモジュール/オペレータパネル(一体型)の幅

斜線部は、メンテナンススペースを示します。

(注) 接続できるモジュールの詳細は『AI-6527 I/Oモジュール、ユーザーターミナルモジュール、オペレータパネル(一体型)仕様・取扱説明書』をご参照ください。

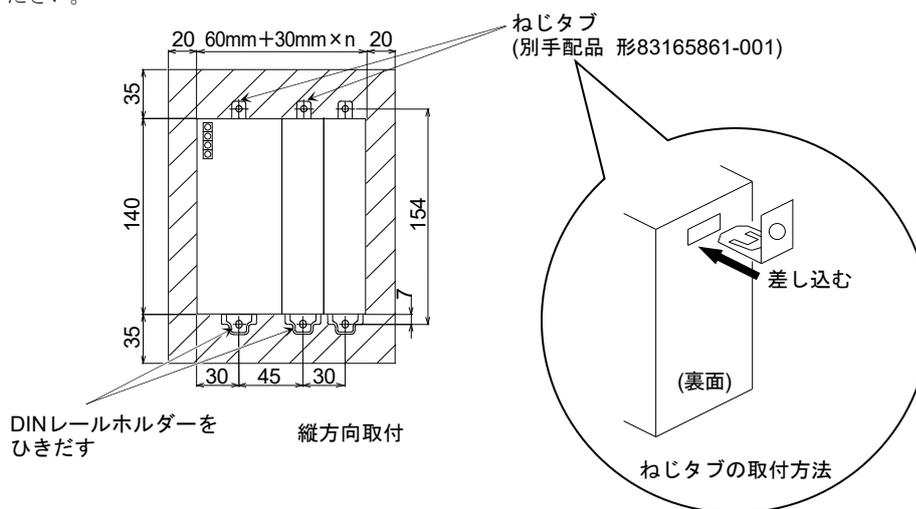


図7 ねじ直接取付

ねじ取付の場合は、別手配品のねじタブ(形83165861-001)が必要となります。

M4、L=8のねじ2本で壁面へ取り付けてください。

## ■結線

⚠ 警告	
⚡	端子カバーを着脱するときは、配線が活線状態でないことを確認し、結線作業後は端子カバーを元に戻してください。端子カバーをしないと感電するおそれがあります。
⚡	配線・保守などの作業は、本製品への電源を切った状態で行ってください。感電のおそれや故障の原因になります。

⚠ 注意	
❗	取り付けや結線は、安全のため、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。
❗	配線については、内線規程、電気設備技術基準に従って施工してください。
❗	本製品への給電元に電源遮断ブレーカを設けてください。 本製品は電源スイッチがないため、本製品側では電源を切れません。
❗	本製品の電源は、端子接続などの恒久的な接続手段により接続してください。

⚠ 注意	
❗	端子台に接続する圧着端子には絶縁被覆を使用してください。絶縁被覆がないと、短絡して火災のおそれや故障の原因になります。
⚠	端子ねじは確実に締めてください。締め付けが不完全だと火災のおそれや発熱の原因になることがあります。
❗	配線の被覆むき長さは、仕様に記載された寸法を守ってください。 長すぎると導電部が露出し、感電または隣接端子間で短絡することがあります。短すぎると導電部が接触しないことがあります。
⊘	本製品の空き端子は、中継などに使用しないでください。 故障の原因になることがあります。
⊘	本製品の通風孔を、ふさがないでください。(また、保護シートは設置・結線後にはがしてください)。 通風孔をふさいだままにすると、故障の原因になることがあります。

## ● 注意点

### (1) フラットマークチューブ

Inflex ACはワンタッチねじレス端子台を採用しているため、圧着端子なしで結線します。このとき、通常のマークチューブでは電線を外したとき、抜け落ちてしまうことがあります。それを防止するため、次のフラットマークチューブを使用してください。

フラットマークチューブは、摩擦により電線に保持されるため、抜け落ちにくくなります。

メーカー名 : フェニックス・コンタクト(株)

品名 : フラットチューブマーカ

品番 : 5880029

型式 : TMC-3

適合電線範囲 : 0.4mm<sup>2</sup>~2mm<sup>2</sup>

梱包単位 : 200m/1巻

### (2) 2mm<sup>2</sup>のケーブルを使用する場合

外部端子台を設け、盤内配線は1.25mm<sup>2</sup>、外線を2mm<sup>2</sup>としてください。

### (3) 1端子に2本の電線を結線する場合

外部端子台を設け、分岐してください。

### (4) ファン発停

小勢力回路を使用してください。

### (5) インバータへの出力信号

シールド線を使用してください。

## ● 電源端子台への結線

M3ねじ端子台用の圧着端子を圧着し、ねじ端子台へ結線してください。

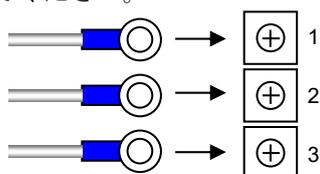


図8 電源端子台

## ● I/O、NC-bus端子台への結線

I/OとNC-bus端子台は、ワンタッチねじレス端子台です。次の手順で結線してください。

### (1) 電線の被覆を8mmむいてください。

(注) 機器正面下部に被覆除去ゲージがあります。8mmより長すぎると導電部が露出し、感電および隣接する端子間で、短絡する可能性があります。

また、短かすぎると導電部が接触しない可能性があります。

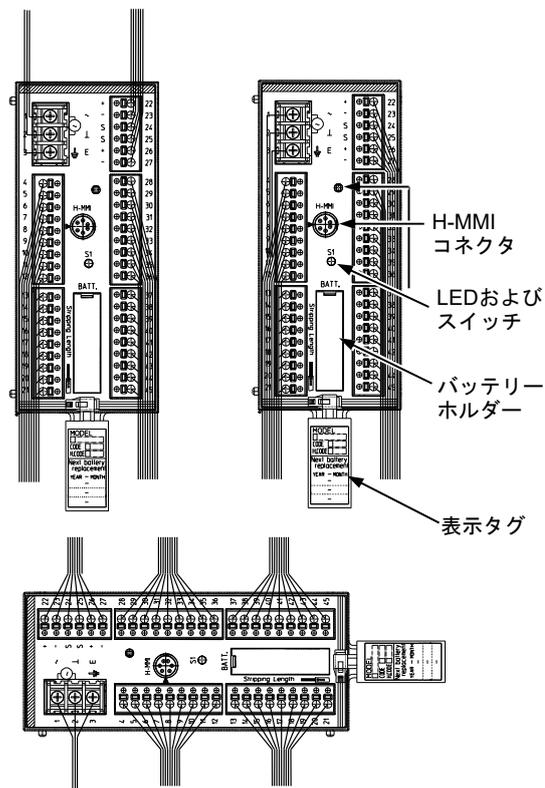
### (2) 電線被覆をむいた部分に、ヒゲなどが出ていないことを確認してください。

### (3) 端子台のボタンをマイナスドライバーなどで奥まで押して電線を挿入し、ボタンを離してください(ボタン押力は、23Nまでとします)。

### (4) 電線を軽く引っ張り、固定されていることを確認してください。

また、ヒゲが出ていないことを確認してください。

(注) 電線を斜めに引っ張ると、断線するおそれがあります。



(注)

1. 配線でLED、スイッチ、H-MMIコネクタと▶マーク、バッテリーホルダー、表示タグが隠れないように束線バンドなどを利用して配線してください。
2. ケーブルダクトから機器への配線部分は、たるまないように配線してください。
3. 横方向取付は、Inflex ACを単体で取り付ける場合のみ。I/Oモジュールを組み付ける場合は、縦置きにしてください。  
電源端子が右上になる横方向取付、表面プレートが上向きや下向きの設置は禁止します。

図9 配線の引きまわし

## ■ 機器接続上の注意事項

### ● システムコモン

電源線のうち一相をアクティバルなど他機器との信号授受のための共通基準線(システムコモン記号⊥)として共用する場合には、本製品、アクティバルなどへのAC24V電源供給を、電源端子の記号(～)および(⊥)側へ同相供給するよう配線してください。

本製品と他機器の信号伝達は、各機器の⊥端子を基準として、配線してください。

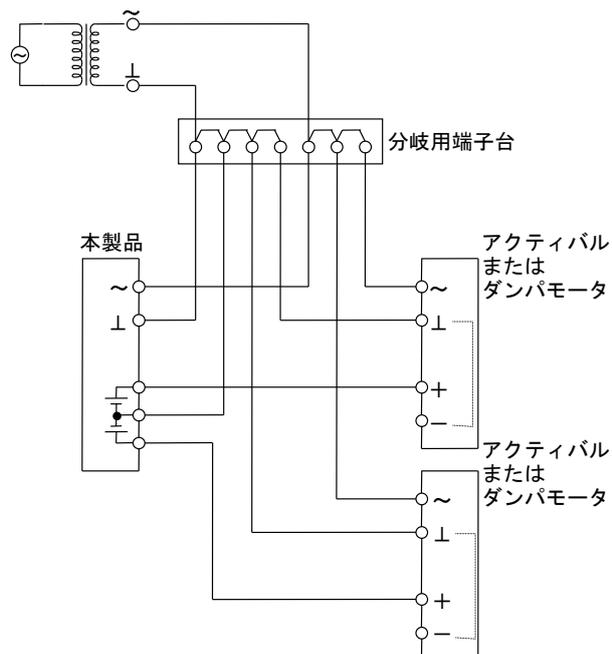


図10 システムコモン

- 重要!!**
- 絶縁形トランスを使用してください。トランス2次側以降を接地しないでください。
  - ⊥線は、トランス直後より端子台で分岐し、各機器へ接続してください。

### ● インバータとの接続

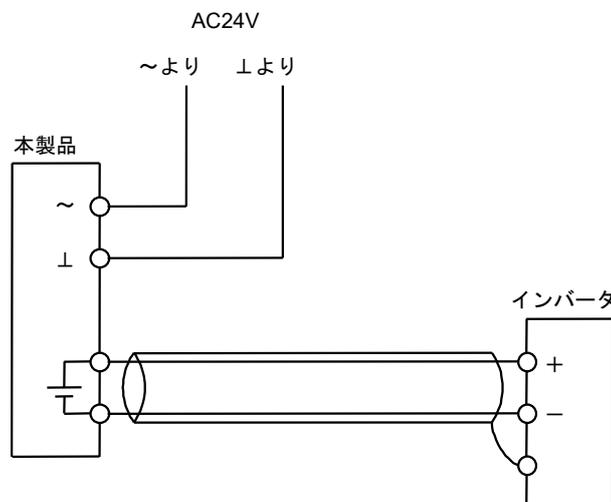


図11 インバータとの接続

- 重要!!**
- シールドは、インバータ側で一点接地してください。

### ● 湿度センサとの接続

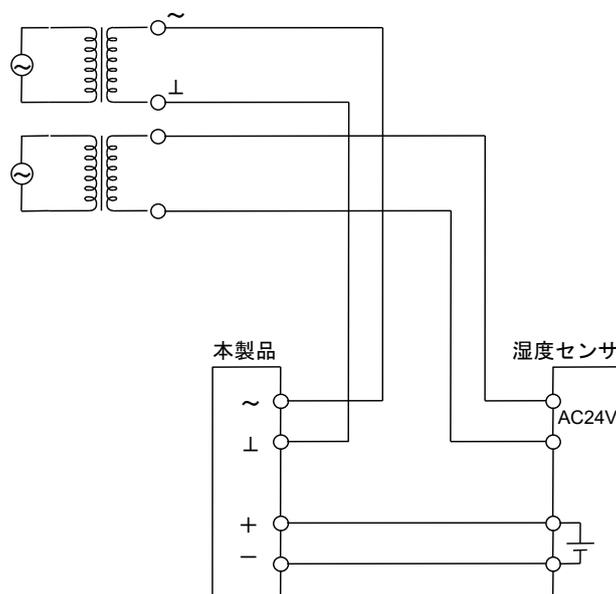


図12 湿度センサとの接続

- 重要!!**
- 同一トランスから電源供給した場合には、湿度センサが破損するおそれがあります。他の接続機器、配線状況によっては、短絡電流がセンサおよびコントローラに流れます。

## ■取 扱

### ●電源投入前の注意

- (1) 結線が正しく行われていることを再度確認してください。
- (2) 通電までの間に保護シートをはがしてください。
- (注) 保護シートが貼ってある面以外(側面、底面)の通気口から製品内部へ異物が入り込む可能性がある場合は、通気口をビニールなどでふさいでください。

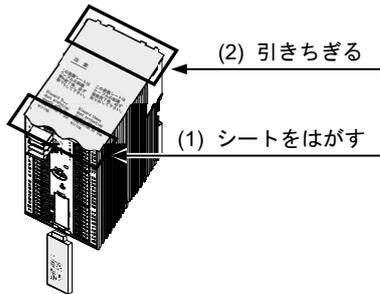


図13 保護シート

- (3) 電源投入後、正常に動作するまでに、数十秒を要します。  
このとき、一時的に赤色LEDが点灯します。  
異常ではありません。

### ●H-MMI、PC-MMIの接続

- (1) H-MMI 形QY5111Aを接続する場合  
変換ケーブルは、不要です。H-MMIのコネクタを直接挿し込みます。  
このとき、H-MMIのコネクタの◀ マークを左側にし、本体表示の▶ マークと合わせるように差し込んでください。
- (2) H-MMI 形QY7211A、またはPC-MMIを接続する場合  
D-SUBコネクタを変換ケーブル(形83104995-001)を使用し、ミニDINコネクタに変換します。  
コネクタの◀ マークを左側にし、本体表示の▶ マークと合わせるように差し込んでください。

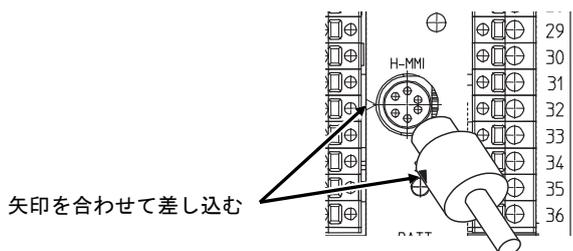


図14

### ●コントローラNo.などの記入

表示タグの裏側は、系統表示ラベルになっています。  
表示タグを裏返し、コントローラNo.を記入してください。

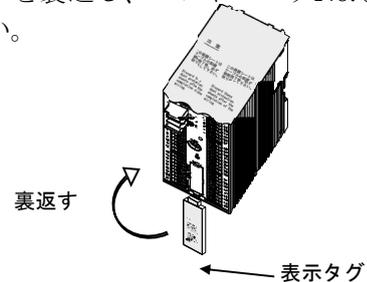


図15 表示タグへの記入

## ■ 保 守

### △ 注 意



本製品のバッテリーを交換する場合は、本説明書で取付方法を確認のうえ、正しく取り付けてください。

バッテリーの発熱、破裂、液漏れの原因になることがあります。



使用後のバッテリーは火中に投げたり、そのまま廃棄しないで、各自治体の条例に従って適切に処理してください。

破裂や発火のおそれがあります。

- 重要!!**
- サービス担当者以外は、バッテリー交換をしないでください。
  - 交換作業時、電源部に触れないでください。
  - 製品使用状態(通電状態)では5年ごとに交換してください。
  - 端子電圧チェックなどでは、バッテリー残容量のチェックができません。5年ごとにバッテリー交換を実施してください。
  - バッテリー交換は、電源を切らないで行ってください。
  - 製品が未使用またはそれに近い状態(無通電状態)が1年続いた場合は、バッテリーを交換してから製品の使用を開始してください。

### ● バッテリー交換方法

- (1) マイナスドライバで、バッテリーホルダーを引き出します。
- (2) コネクタを外し、リチウム電池をバッテリーホルダーから外します。
- (3) 新しいリチウム電池をバッテリーホルダーに入れ、コネクタを接続します。
- (4) バッテリーホルダーを本体に入れます。
- (5) タグのバッテリーラベルに、5年後の年月を油性ペンで記載します。

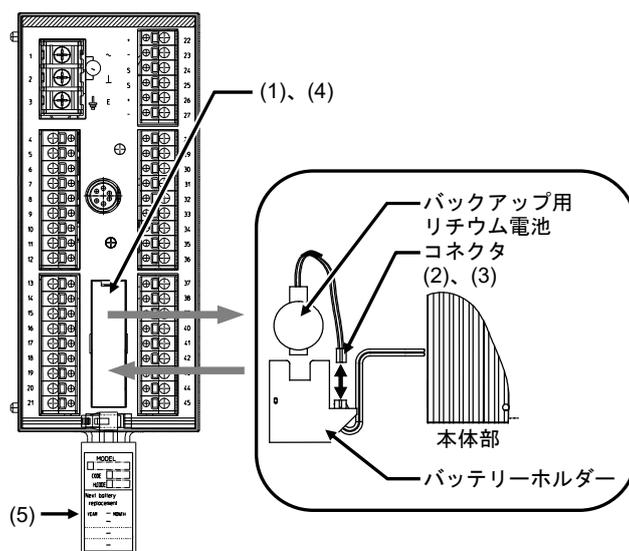


図16 バッテリーの交換方法

## ■ 廃 棄

本製品が不用になったときは、産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。

また、本製品の一部または全部を再利用しないでください。



本製品は、盤内に取り付けてください。

本製品は、以下のElectromagnetic Compatibility Directive (EMCD)に適合しています。

EMCD : EN 61326-1 Class A, Table 2 (for use in an industrial electromagnetic environment)

\* Infilexは、アズビル株式会社の商標です。

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー

**azbil**

[ご注意] この資料の記載内容は、予告なく変更  
する場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせは、コールセンターへ

**0120-261023**

<https://www.azbil.com/jp/>

ご用命は、下記または弊社事業所までお願いします。